

# 学校だより



平成27年度 第25号

下野市立南河内中学校

発行者 日下田 英彦

H27. 12. 14

12月の俳句 数〜日やひと日ひと日を心して

梅田 澄子

早朝、リビングのカーテンをあけると、東の空には日の出前のあかね色の朝焼けが目に痛いような赤さでした。出勤時に鬼怒川の橋の間から、そして新4号バイパスでは坂をあがったところから、富士山が雪をかぶってくっきりと見える日があります。四季の移り変わりの早さを感じ、身の引き締まるような思いです。

さて、平成27年も、学校への生徒たちの登校は今週、来週の合わせてもあと8日となりました。保護者の皆様にとって本年はどんな年であったでしょうか。また子ども達にとって成長の年となったでしょうか。冬休みを迎えるにあたり、本年をよい形で締めくくることができればと思います。

## 1 親子学び合い教室（携帯電話講習会）の参加、お世話になりました。

12月7日（月）の授業参観では、親子学び合い教室として、講師に下田太一先生をお招きし、携帯電話講習会を行いました。下田先生は、ネット利用による諸問題の解消のため、望ましい携帯電話等の使い方をテーマに小学生から、高齢者まで1200回を超える講演を行ってきました。今回は中学生と保護者の視点に立って、携帯等の危険とどう使っていけばよいのかを話してくださいました。保護者の方にも、多数の参加をいただきありがとうございました。

「使ってはいけない。」という前提ではなく、どういう危険が潜んでいるのか、どう使いこなしていけばよいのかを、それぞれが考えていくことが大切だと話してくださいました。

テクノロジーは進歩していても、それを使う人間の心は変わりません。「相手の身になって」の使い方を心がけていくよう、また犯罪に巻き込まれたり、いじめに利用されることのないように、学校、家庭で協力して、子ども達を育てていきましょう。よろしく願います。



下田先生の資料より

ケータイで不幸になる人の特徴

### 1 思い込みの強い人

画面に表示された文字だけで気持ちを伝えようとする、読み方によって印象は大きく変わってしまいます。そんな時、多くの人は発信した人の気持ちを「わかったつもり」になってしまいます。思い込みが原因で、自ら間違った行動に発展してしまいます。

### 2 意志の弱い人

ケータイは使う人の目的に応じてさまざまな使い方がされます。しっかりと目的意識をもった人には強力な味方になりますが、目的意識をもたない使い方を続けると、流行や友達付き合いに振り回され、息苦しい生活におちいります。

文面だけでは伝わりにくいですが、下田先生は映像等で詳しく説明してくださいました。

## 2 人権集会を行いました。

12月9日(水)、朝の集会で下野市人権委員の中川さん、前田さん、秋山さんをお招きして、人権集会を実施しました。秋山さんからお話しをいただいた後、全校でVTRを視聴しました。身近なところから人権感覚を育てていくことが大切です。集会のあと、3名の委員のみなさんから本校の生徒のあいさつのよさをお褒めいただきました。秋山さんは近隣にお住まいで、職場体験などでもお世話になっています。あいつのよさには生徒も自信をもっています。あいつ、よい校風にもなっています。さわやかなあいさつこそ、相手を尊重する行為であり、人権意識にもつながると思います。今後も発展させていきたいと思っています。よいあいさつをみつけたり、逆にあいさつが低調になってきたと感じたときなど、ぜひお知らせいただけるとありがたいです。



## 3 受験生のためにアドバイス 「落ちる受験生」の特徴

3年生はもちろん、1、2年生の保護者の方も将来のために読んでみてください。

### 1 受験校でまだ迷っている

ここまできたら、明確な目標に向けて頑張るだけです。少し目標に足りないぐらいで迷っているのは時間のムダです。

### 2 「落ちたらどうしよう」「自信がない」と言っている

不安は誰にでもあります。しかし口に出して言っていると、本当になってしまいます。かまってもほしくて言っている生徒もいますが、意識して強気の思考や会話をするべきです。

### 3 勉強量が足りない

みんなが必死に取り組んでいるのに勉強量が足りなければ結果はでません。ただし大切なのは「勉強量」で「勉強時間」ではありません。

### 4 不規則な生活をしている

昔は「4当5落」などと言われ、睡眠時間を削っても勉強したこともありましたが、長い目でみたら、体に悪影響があるはず。リズム正しく、きちんとした生活をしている生徒の方が集中力も高まり、成績もあがっています。

### 5 友達と一緒に勉強している

本来受験勉強は孤独なものです。友達といっしょであれば、楽しい分待ち合わせに時間を取ったり、ついおしゃべりもと時間をムダにしています。勉強と遊びの区別をつけることは大切です。

### 6 ケアレスミスを気にしない

「これは本当はできたんだけど、うっかりケアレスミスで間違えました」という生徒は本番でも同じ誤りをしがちです。ミスをなくす勉強を心がけることです。

### 7 新しい参考書や問題集をたくさん買い込んで積んである

これから新しい参考書や問題集に手を出すより、教科書や学校のワークブック、ずっと使っている受験参考書から、間違えたところを繰り返し行った方が効果的です。参考書や問題集を買っただけでやったつもりになる生徒もいます。

### 8 受験できることに對して、感謝がない

受験は生徒にとって大変だとは思いますが、「受験できることがありがたい」ということに気がついた生徒は意欲が違います。

担任の先生に紹介した資料の一部ですが、担任から生徒にも話していると思います。保護者の皆様の家庭でも心当たりがありましたらすぐに改善させましょう。

3年生は、冬休みに私立高校の試験が多くありますので、今週中に受験票を配布いたします。入試日まで大切に保管し、受験番号なども控えておくよう指導していますが、ご家庭でもご協力ください。また、体調を崩す生徒も増えています。お子さんの体調管理には十分、お気をつけください。